

最近、映画館でもよく「違法と知りながらダウンロードする…」など案内をよく見かけます。どのようなことなのでしょう…?

●著作権の保護

全ての文書、映像、イラスト、写真、音楽等の創作物には作成した者の権利と使用を保護するための法律が定められています。無断で使用したりすると、法律により罰せられます。

身近なところではCDのコピーです。レンタルショップで借りてきたCDをパソコンに取り込んで複製を作成するなどです。多くの方が経験済みの行為だと思えます。これも著作権を侵害する行為なのですが、**コピーしたものが「私的利用」の範囲内であれば問題ないことになっています。**

では市販の映画DVDやTV番組を録画した映像はどうでしょうか。**私的利用の範囲**、というのは音楽CDと同じです。

ただ、音楽CDとは異なり、市販のDVDやTV番組のコピーは簡単にはできないようになっていています。この違いが、今度の著作権法改正のテーマになっています。



TV録画の場合

デジタル放送をHDDに録画した場合、DVDにコピーできるのは「10回」までです。**(CS放送では1回がほとんど)**10回目のダビングではHDDから消去されます。**(ダビング10という方式です)**それ以上複製を作成しようとすると、DVDからのコピーになります。暗号化されるため通常はできません。

市販の映像DVDの場合

コピーガード(暗号化)されているために複製はできない仕組みになっていますので、通常はできません。

複製を作成するには…

では、通常はできない複製を作成するにはどうすればいいでしょうか。要は暗号化を解いてあげればいいわけで、それが行なえる「**リッピングソフト**」を使用すればコピーが可能です。そうして、DVDに再度書き込めば複製の完成、となるわけです。



●違法となる行為

著作権法違反になるのは、私的利用意外に使用した場合。例えばコピーしたメディアの販売や配布など。これは明らかに私的ではありません。

今まででも、音楽や映像をネット上に**違法**(違法というのは権利者の承諾を得ず、ということです)に**アップロード**(配信)することには罰則がありました。

今回の改正では、**違法と知っていながらダウンロード**することについても罰則が科されるようになりました。

「2年以下の懲役、200万円以下の罰金」です。併せて、前述のリッピング行為(DVDの複製)もすべて違法となります。但し、こちらには罰則既定はありません。
法律の施行は「**2012年10月1日**」からとなりますのでご注意ください。



尚、音楽CDのコピー行為は、今まで通りの扱いです。

●Windows 8

マイクロソフトの次期OS「**Windows 8**」が10月28日に発売になります。特徴はタブレット型を意識した「画面タッチ式」です。従来のマウスでもタッチでも操作が可能になりました。操作画面もタッチ操作がしやすいようなデザインになっています。

最近「**Windows 7**」を購入した、という人でも朗報があります。対象商品に限りますが、6月2日から来年の1月31日に購入したパソコンであれば¥1200で「8」が購入できます。詳しくはマイクロソフトのサイトで確認できます。



併せて**Windows**のタブレットも発売されます。益々、賑やかになってきました。

See you next Month